

【現状と課題】

○平成24年度～25年度の2カ年にわたり、県内全市町村において防災公共推進計画を策定した。
○今後は、計画に基づいた効率的・効果的な対策を着実に推進しつつ、大規模災害時に備え情報共有化を強化する。

■防災公共推進計画の着実な推進

- ・危険箇所や避難場所
 - ・津波浸水想定区域
 - ・河川氾濫浸水想定区域
- 共有

■大規模災害時に備えた情報共有の強化

- ・施設管理者毎の施設台帳
- ・県民局等関係機関との情報の一元化

■防災公共の情報発信(啓発等)

- ・県民に対しての説明と啓発
- ・全国に対しての取組の発信



【事業内容】

【防災公共・災害情報提供システム構築(H26～H28)】

- ・異なるデータベース情報の統一的な取扱い
- ・GIS(地理空間情報)との連携
- ・GIS基盤の基本設計・構築・試行・本運用

防災・災害関連情報の共有を図る。

- ・危険箇所、被災位置、写真・避難場所など
- ・GIS情報として提供する。(見える化)

職員研修、システム基本計画
職員研修、システム実施設計、システム構築
システム構築、試行検証



【業務の効率化】

- ・防災公共推進計画のフォローアップ
- ・施設点検・維持補修履歴etc
- ・施設台帳管理等

【災害情報の即時性】

- ・被災位置・写真等、県民局、部局間の情報一元化
- ・初期対応の効率化と強化

防災情報システム
への活用
WEBでの情報提供

【情報発信(H26)】

- ①防災公共推進計画の啓発パンフレット作成
- ②防災公共フォーラムの開催

防災公共推進計画書
～平成24・25年度策定～



【効果】

防災公共推進計画の着実な推進

大規模災害時に備えた情報共有の強化

県民の防災意識啓発

(仮称)防災公共・災害情報提供システムによる通常業務の効率化

【現状と課題】



- ・ 出先機関と主管課が台帳管理
- ・ 定期的な点検を反映するための書類の差し替え作業が発生
- ・ 多種の台帳管理を行う



- 施設管理者は、施設台帳、危険箇所台帳など多種の台帳を管理し、作業時は、検索時間がかかり、また、保管スペースが必要。
- 防災公共推進計画フォローアップ時に、各所管で危険箇所の対策施行等で更新された情報収集に労力がかかる。

【事業実施】



各地域県民局
各 部

【業務の効率】

- ・ 危険箇所点検業務など台帳管理

情報共有

GIS(地理空間情報)基盤

MAGIS - Version.12.12.21.5

道路防災点検管理システム

防災点検番号	事業用名	編成番号	点検対象項目	路線名	距離(白)	距離(青)	距離(赤)	距離(黒)
1	東青1-386	12474003	橋の基礎の沈下	橋ヶ平川線	484	4892	7	7
2	東青387	1259A001	陥凹	久里街道	1589	15	112	112
3	東青388	1259A002	陥凹	久里街道	2585	2692	47	47
4	東青389	1259A003	陥凹	久里街道	2585	2692	47	47
5	東青390	1259A004	陥凹	久里街道	2696	2763	67	67
6	東青391	1259A005	陥凹	久里街道	2801	2827	26	26
7	東青392	1260B001	陥凹	国道200号	615	115	1000	1000
8	東青393	1260A001	陥凹	国道200号	20209	0399	121	121
9	東青394	1260B06	陥凹	国道200号	1117	192	750	750

(仮称)防災公共・災害情報提供システムによる災害時の効率化

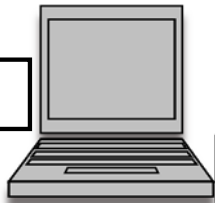
【現状と課題】
県土整備部
防災訓練から

被災状況の報告時に各課が地図、報告様式や状況写真を持ち寄る。
その情報を地図上に書き込み「どこで何が」を把握→対策等指示。



- 全体を示す地図は本部にしかない。
- 地図上に手書きしていくことで、時系列の変化を記載しきれなくなる。
- 大規模災害時には、対策本部に他部の情報も逐一入り、紙ベースでは処理しきれない状況が想定される。

【事業実施】



各地域県民局 各部

【災害情報入力】
・被災位置・写真など

情報共有

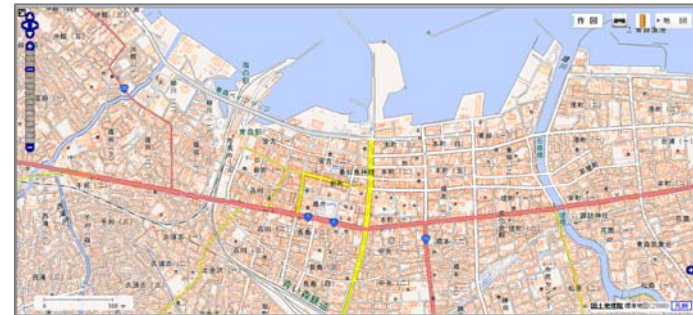
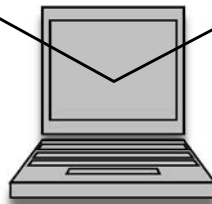
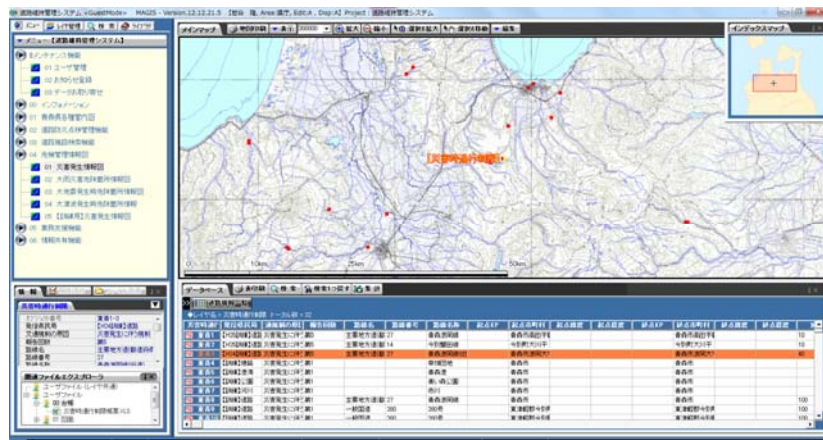
GIS(地理空間情報)基盤

レイヤ名	土木事務所	渓流番号	河川名	渓流名	所在地
東青1	東青地域県民局	201-1-13(1/2)	入内川	南駒田沢	青森市大字入内字駒田
東青2	東青地域県民局	201-1-13(2/2)	入内川	南駒田沢	青森市大字入内字駒田
東青3	東青地域県民局	201-1-14	入内川	中駒田沢	青森市大字入内字駒田
東青4	東青地域県民局	201-1-15	入内川	ねずみ沢	青森市大字入内字駒田
東青5	東青地域県民局	201-1-16	沖野川	湊田沢	青森市大字畑越字湊田

(仮称)防災公共・災害情報提供システムへの基盤図情報連携

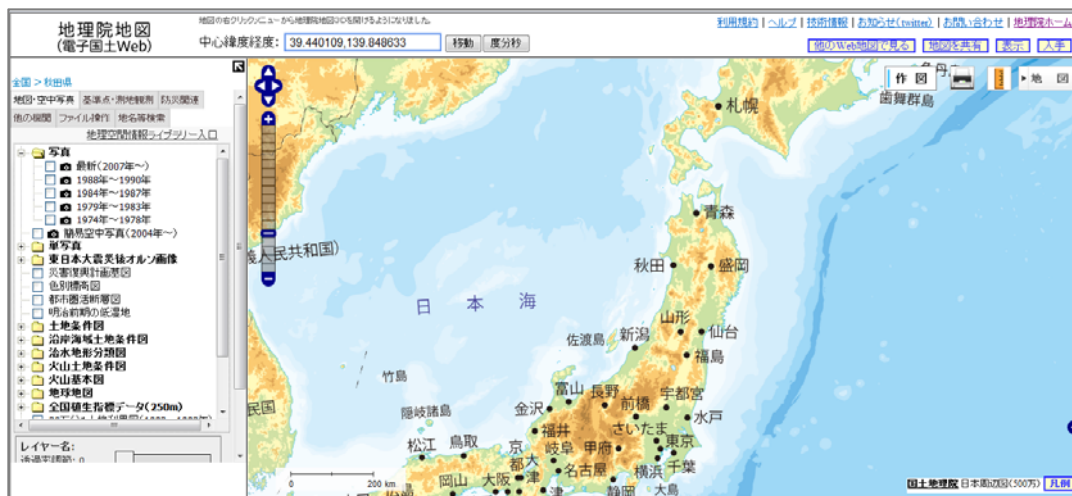
地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定書締結(平成25年5月31日)に基づき、各種基盤図、オルソ写真の提供を得て、GISシステムの基盤図として活用する。

(仮称)防災公共・災害情報提供システム

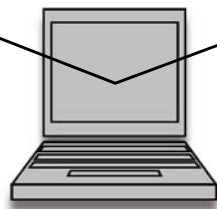
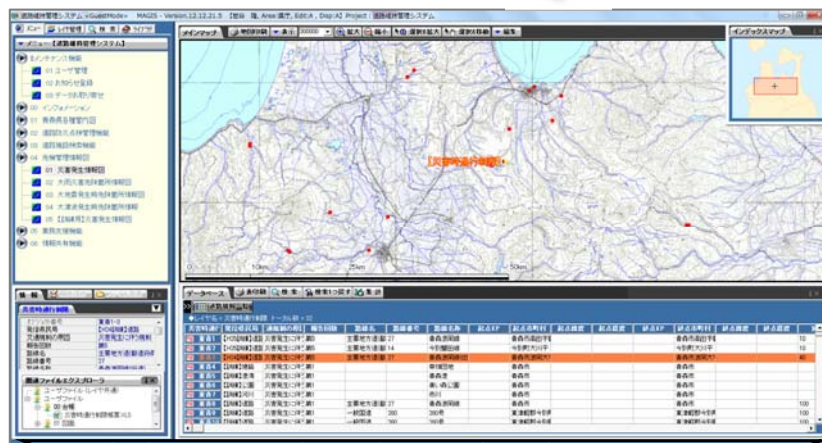


(仮称)防災公共・災害情報提供システムと地理院システムの連携

地理院地図



(仮称)防災公共・災害情報提供システム



電子防災情報システムの整備

災害発生直後から各情報源からオンラインで提供される各種情報(現場情報や被災者情報、各種支援活動情報)を集約し、リアルタイムに電子地図上に統合表示して共有し迅速に把握することができるフレームワークとして、電子防災情報システムを構築する。

【必要性】

大規模災害発生時、リアルタイムに集まる現場情報、被災者情報、各種支援活動情報、現地画像等の各種情報を迅速に把握し、これに基づいた確かな対応を可能とすることが、国民の生命、身体及び財産を守る上で重要である。

